

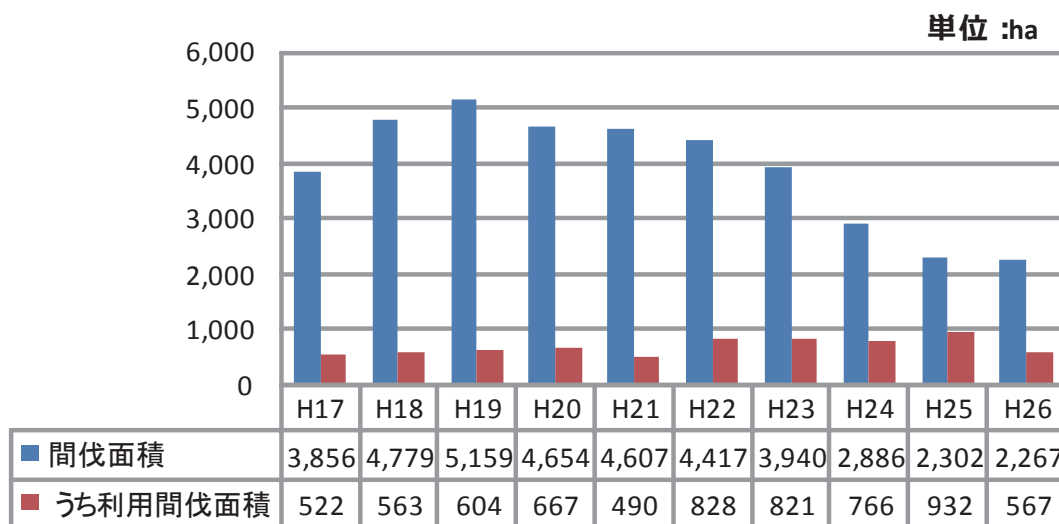
1 公益性の高い森林の保全

第1節 公益性の高い森林の保全

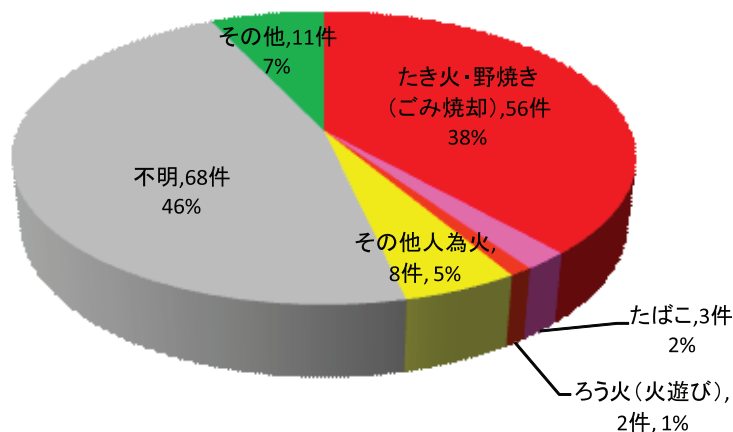
■ 現状と課題

- 群馬県の森林面積は42万5千ha、県土面積に占める割合は67%で、森林面積、森林率とも関東地方ではトップとなっています。
- しかし、過疎化・高齢化等により、森林整備の担い手が不足するとともに、奥山や地形的要因などによる条件不利な森林では、森林整備が遅れています。
- 間伐面積の7割以上が切捨間伐であり、伐採した木が林内に放置されている状況です。地域資源である県産木材を有効利用するためには、効率的に素材生産を行うための基盤整備が必要です。
- 近年、集中豪雨が頻発する中、森林が有する公益的な機能を適切に発揮させていくためには、予防治山の推進等、山地災害の未然防止策を進めていくことが重要です。
- 森林環境問題に注目が集まる中、県民の森林づくりへの関心が高まり、森林活動への参加を希望する人が増えてきており、多くの人々が気軽に森林整備に参加できる場づくりが必要です。

間伐面積の推移



平成22～26年 林野火災発生原因



(資料:林政課)